



新一万円札の顔



■ 地域に根ざした活動で自らも健康に

シニアクラブ幹事の井上です。

今月のシニアクラブ便りの巻頭言を担当いたします。自己紹介と共に、現在の私の日常と活動について紹介させていただきます。



◆ 私は終戦直前の7月に疎開先の横須賀市で生を受けました。終戦後、港区芝浦にあった父の会社の社宅に16年間住み、小中また高校、大学は神田に通いました。

高校、大学時代は勉強とともに母の影響を受け、高校はJRC(青少年赤十字)、大学時代は福祉関係の団体に入り、日肢協(日本肢体不自由児協会)のそれぞれボランティア活動で青春時代を過ごしました。当時日肢協での思い出は、NHKの早朝6:30の30分番組にTV出演し、内幸町から芝浦までハイヤーで送迎、出演料4,500円を貰ったことです。活動も多岐に渡り、多くの時間を肢体不自由児者と過ごし、多くを学びました。

◆ 昭和43年にビクターに入社して岩井工場で社会人生活をスタートしました。38年の社会人生活の中、転勤や出向を重ね岩井工場での約20年が一番長い職場となりました。最後は横浜工場総務勤務となり現在の本社建築に当初から携わり、本社ビル始めとする会社の構内電話無線システムの構築を完成させて卒業となりました。

◆ リタイア後昔から携わってきたボランティア活動を軸として、市のシルバー人材センターに登録をして今年で15年目になります。そして現在は小

学校の警備業務を中心に学校の環境保全活動で、芝張りや芝刈りまた生け垣剪定等々、用務員さんのお手伝いをして隔週半日の仕事をしています。

また小学生の登校時、交差点での旗振りや学区の防災活動での会合に参加し、避難行動の組織化、全戸配布の避難行動マニュアルの作成等お手伝いしています。

更に地区の自然観察活動で、常総市の「あすなろの里」における趣味を兼ねた野鳥観察や春の田植え、秋の稲刈り、また年末には門松作り等、参加する親子のお手伝いもしています。

◆ 生き甲斐とその原点ですが、私の信条として何事も前向きに捉え、人が嫌がりそうなことも出来るだけ進んでやるよう心掛けています。また特に地域との繋がりを大切にしていれば多くの人とのコミュニケーションをとることが大事ではないかと思っています。幸い健康には恵まれ親に感謝しつつ、日頃ウォーキングに勤しみ、警備業務他地域社会との繋がりに現在の自分があるものと考えています。

◆ 人生100年時代、またDX社会に乗り遅れないよう、生活必需品のスマホはもとより今や小学校の授業でも使っているタブレット、そしてPCと何とか使えるよう努力しています。ネット社会がますます広がっていく中、SNSに積極的に投稿しFaceBook、X(旧Twitter)、Instagram等で多くのネット仲間との交流を図っています。皆さんとより多くのチャンネルで交流をして、人生を謳歌することが出来ればこの上ない喜びです。【井上純一】



■ Online 会合報告 (2024. 6. 24)

シニアクラブは今年第23回目の総会を迎えることとなります。ホームページにはこれまでの活動情報が載せられていますが、2002年の第1回設立総会からしばらくの間の情報がまとめられていません。

今後それらを整理して皆が情報を共有できるようにしていこうと思っています。今回は第一弾として15周年記念事業で紹介した記録他、シニアクラブ便りのバックナンバーを通してその時代の出来事などを思い返してみました。

<http://jvc-senior.com/20240624online.pdf> を参照



■ 新札登場 https://www.npb.go.jp/ja/n_banknote/index.html

7月3日から新しい1万円札、5千円札、千円札が発行されます。新札への対応のため券売機などの改造に大きな出費が余儀なくされているところもあるようです。

新札発行の理由は偽札防止のためと言われてます。日本ではほぼ20年置きに行われてきていますが、諸外国ではこのタームがもっと短いところもあり、その理由が簡単に偽札が造られてしまうからとか。高度な印刷技術によって作られた日本のお札はそれだけ偽造が難しいものだと思います。

今回の新札にはホログラム画像を加えて一段と高めた印刷技術が込められています。



更に従来の壱万円と10000の表記位置が入れ替わって漢字が読めない外国人にも分かり易くしたとのこと。

福沢諭吉の1万円札は1984年に新登場し、2004年にマイナーチェンジがありました。40年続きました。

諸外国ではクレジット化が進み、現金を使わない人が多くなっているようです。偽札の横行がクレジット化を促すという皮肉な結果と言えるのですが、いずれ国内でもお札の流通は減少していくでしょう。渋沢栄一の1万円札はいつまで続くのでしょうか。

国立印刷局のサイトでお札の歴史をご覧ください。

https://www.npb.go.jp/product_service/intro/ostu_history/index.html

新券発行で「旧札は使えない」と言って回収詐欺が発生しているようです。明治時代に発行された壱円札は今も現役で1円として使用可能とのこと。

当時の壱円はさぞ価値があったことなのでしょうが。

■ パリオリンピックの治安問題

7月26日、パリオリンピックが開幕します。小紙2月号でセーヌ川沿いに並ぶ古本屋の(失礼ながら)ごみ箱のような店を一時撤去するような話を記載しました。

【<http://jvc-senior.com/jkr0602.pdf> 参照】 マクロン大統領の判断でこれは取り消しとなったそうですが、移民問題やウクライナ、中東地区の紛争の影響を受け、フランス国内の不安定な政局課題を抱える中、治安には疑問符が付けられています。パリ中心部には広範囲に立ち入り制限地区が設けられ厳重警戒がなされるとのこと。これではセーヌ川というオープンな会場での開会式も一般には見る事ができないでしょう。

<https://www.designstoriesinc.com/europe/paris-olympics-5/> 参照

■ 都知事選で感じたこと

6月20日告示された東京都知事選は7月7日の投票日に向けてそれぞれ戦いを展開している、筈であるが立候補者は56人もいて当選者は一人のみ、多くの候補者は真剣に勝負をしているとはとても考えられません。都選管が準備した選挙ポスター掲示板に収まりきれないほどの立候補があったことは、選挙に対する新たな問題が提起されたと思います。

一団体から多数の候補者を擁立させ、立候補に必要な供託金の一部を寄付した人が金額に応じて掲示板を自由に利用することなど想定外のことが起きています。その結果、一掲示板の24枠を一人で占有とか、候補者とは別人の写真が貼られたり、あげくの果てに風俗店のポスターが張られたりと、極めて非常識な行動がありました。供託金300万円の没収だけでは済まされないもっと真剣な対処が求められるべきです。

■ 定額減税と電気ガス負担軽減策再開の狙いは

シニアクラブ会員ほとんどの方が年金受給者と思いますが、6月の年金振込書を確認されたでしょうか。

定額減税額が記載されていました。手取り額がその分増えたはずですが、まったくその恩恵を感じていないのは私だけでしょうか。一人4万円と言うことで6月に一気ではなく次回以降にも減税額が記載されるものと思いますが、政府が意図する景気刺激・経済活性化の効果や如何に。更に5月末で終了した電気ガス代補助金が8月から3か月間再開されるとのこと。どう見ても現政権の人気復活のための政策にしか見えませんが。

■ 事務局から

- ・6月28日(金)「シニアの料理教室(餃子)」実施済
- ・7月の行事として15日(月・休日)「懐かしき歌の蝉時雨」 27日(土)「下山静香コンサート」を開催。
- ・8月は1日(木)「カラオケ」 28日(水)「浅草ジャズ」を予定しています。多くの皆様、ご参加ください。

事務局長 田代 周